

AMDA 国連NGOに

経済社会
理で内定

救援活動の実績評価

国際医療ボランティア団体・アジア医師連絡協議会（AMDA、本部・岡山市榎津）が、国連の認定するNGO（非政府組織）として登録されることがこのほど、ジュネーブで開かれた国連経済社会理事會 NGO 部会で内定した。

登録が正式に承認されると、同理事會での発言資格を得、医療保健分野での提言や文書提出なども可能となる。

国連NGOの資格は三ランクあり、公式会議への出席や会議での議決権、議題の提出などが、登録されたランクに応じて認められる。AMDAは、このうち下位のランクへの登録を申請していたが、アフリカ・ルワンダ内戦やロシア・サハリン地震などに伴う緊急救援活動など、諸外国での幅広い実績が評価され、中間ランクの「カテゴリーII」に登録される見通し。国内

のNGOでは八団体が国連に認定されているが、医療ボランティア団体としてはAMDAが初の認定という。

AMDAは「認定により今後国連を通じて、これまでの実績を基にした提言を広く世界に訴えていきたい」としている。